

令和6年度

事業計画書・予算書

公益財団法人 千葉県学校給食会

# 第 1 事業計画書

## 1. 学校給食実施予定状況

区分 年度		小学校		中学校		義務教育学校 (小中一貫校)		特別支援学校		合計	
		校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
完全給食	令和6年度	746	292,137	360	143,070	4	1,772	38	7,182	1,148	444,161
	令和5年度	744	296,544	361	145,504	4	1,868	38	6,666	1,147	450,582
	増減	2	-4,407	-1	-2,434	0	-96	0	516	1	-6,421

- ① 令和5年度は、令和5年度当初予算数である。  
 ② 令和6年度は、令和6年4月1日の推計見込数である。

なお、完全給食実施人員は児童生徒数 444,161人に教職員 35,676人を加えた 479,837人となり、前年度の486,348人に比して6,511人減の見込みである。

## 2. 評議員・役員及び職員数

評議員 7名  
 役員 12名 常勤理事 2名 (理事長1名・常務理事1名)  
 非常勤理事 7名  
 監事 3名  
 職員 20名

## 3. 評議員会・理事会等の開催

評議員会 2回 (6月定時・3月臨時) その他臨時  
 理事会 2回 (5月通常・3月通常) その他臨時  
 監事会 1回 (5月)

## 4. 事業の概要

### 1 学校給食支援事業

#### (1) 学校給食用物資の供給に関する事業

県下全域の学校給食の円滑な実施を支援するため、需要数量の確保、県内産及び国内産物資の活用促進に取り組むとともに、プライスリーダーとしての役割を果たすことにより、良質で安全な物資を安定的に適正な価格で供給する。

#### ア 基本物資（小麦粉・米・脱脂粉乳等及びそれらを原料として製造した製品）の供給事業

##### (ア) パン

原料となる小麦粉の年間需要数量のすべてについて、千葉県産を含む国内産を確保し、安定供給を図る。

##### (イ) 米穀

米穀の年間需要計画に基づく数量のすべてについて、千葉県産を確保し、安定供給を図る。

##### (ウ) 牛乳

学校給食用牛乳の供給に係る代金請求・支払等受託業務を行う。

#### イ 一般物資（乳類・魚介類・砂糖・甘味類及び油脂類等）の供給事業

永年蓄積した需要データに基づき需要数量を予測し確保に努めるとともに、全国学校給食推進連合会からの購入や他県の学校給食会との共同購入などにより安定供給を図る。

##### 《物資委員会の開催(年2回)》

(598千円)

学校給食関係機関・団体等の代表者からなる委員により、安全・安心、かつ県下で生産される農畜水産物及びその加工品を中心に、地産地消、食育の観点に即した物資の選定を行うとともに、製造工場の視察等を行う。

#### (2) 学校給食用物資の衛生・品質管理に関する事業

取扱物資の安全を最優先するため、自主検査や外部委託検査を実施することにより、現状にいち早く対応した品質管理を行うとともに、製造業者に対しては、衛生・品質管理の指導を徹底し、学校給食の安全・安心対策を強化する。また、衛生管理意識向上のための研修会、安全・安心な物資を提供するための各種システムの充実・運用、衛生検査機器の貸出しなどを実施する。

#### ア 品質検査

(1,900千円)

(ア) 自主検査として、取扱物資の細菌検査・理化学検査等を実施し、必要に応じて業者に対し指導助言する。

(イ) 主に学校給食用パン専用粉・精米・冷凍野菜類を対象として、外部の検査機関による残留農薬検査を実施する。

#### イ 衛生・品質管理の指導

(ア) 製造工場・委託加工工場に対し立入調査を実施し、衛生管理の向上に向けた指導を行う。

更に委託加工工場については、衛生管理研修会を実施するとともに、外部機関による「全パン連フードセーフティ監査」を実施する。

(イ) 製造業者に対し、品質管理に関する書類の提出を求め、内容を精査することで取扱物資の安全を確認する。

【調査・指導】

No.	事業名	開催月	区分	対象	日数
1	一般物資製造工場衛生管理調査	通年	主催	一般物資取引工場	2日
2	委託加工工場衛生管理立入調査・指導	通年	主催	パン・米飯委託加工工場	10日
3	委託加工工場在庫調査	8月	主催	パン・米飯委託加工工場	3日
4	委託加工工場従業員衛生管理指導	通年	共催	パン・米飯委託加工工場	10日
5	学校給食用パン品質調査	6月 2月	主催	パン委託加工工場	各1日

【研修会】

No.	事業名	開催月	区分	対象	人員	日数
1	委託加工工場衛生管理研修会	通年	主催 共催	委託加工工場代表者 製造責任者	90名	3日

ウ 一般財団法人千葉県薬剤師会検査センターとの連携

取扱物資の安全を確保するため、学校給食用物資の検査業務等が円滑に行われることを目的とし、県薬剤師会検査センターと締結している「学校給食用食品に係わる緊急検査等に関する協定書」に基づき、優先的な検査及び衛生管理について指導・助言を受ける。

エ 一般物資取引先業者衛生管理研修会 (190千円)

一般物資取引先業者に対し、学校給食の意義、役割及び食品の衛生管理の在り方について研修会並びに意見交換を実施する。

開催月	区分	対象	人員	日数
7月	主催	一般物資取引先業者	100名	1日

オ 物資規格書システムの充実 (780千円)

栄養教諭・学校栄養職員に対し、学校給食用物資の「安全・安心」な情報を提供するために、規格書システムに掲載している物資の特定原材料等の食材情報を随時更新し、最新の情報を提供する。

カ 物流管理システムの運用 (2,353千円)

物資の入庫から出庫までの在庫管理及び賞味期限管理をデータ化し、安全・安心な物資を学校等へ供給するとともに物資情報を迅速に提供する。

キ 検査機器の貸出 (900千円)

衛生管理・衛生教育に貢献するため検査機器を拡充し、学校給食実施校及び共同調理場等に対し各種検査機器の貸出と検査用消耗品の無償供与を行う。

(3) 学校給食の普及充実に関する事業

食育基本法に基づき千葉県が策定した、第4次食育推進計画を踏まえた魅力ある食育推進活動を行い、子供たちの健全な食生活の実現と豊かな人間形成を育むために、「食育」支援の充実を図る観点から、栄養教諭・学校栄養職員に対し、講習会・研修会を開催するほか、普及啓発事業等の諸活動を実施する。

ア 食育フェア(講演会及び学校給食展示会) (4, 550千円)

学校給食の充実・発展を目的に、食育推進に関する講演会及び学校給食用物資の展示会を開催するとともに、当財団ホームページで公開する。

開催月	区分	対 象	日数
8 月	主催	学校給食関係者	1日

イ 千葉県の伝統料理を取り入れた調理講習会 (575千円)

日本の伝統的な食文化が薄れていく中、地域の伝統的な食文化を学校給食を通して児童・生徒に伝えていくために、栄養教諭・学校栄養職員に対し、千葉県の伝統料理等を取り入れた調理講習会を実施するとともに、動画撮影し当財団ホームページで公開する。

開催月	区分	対 象	人員	日数
7月	主催	栄養教諭・学校栄養職員	25名	1日

ウ 研修会、講習会等の開催及び参加

(ア) 学校給食関係者に対して研修会、講習会を実施する。

(イ) 学校給食関係団体が主催する協議会・研究大会等に参加し見識を高める。

【主催】

No.	事業名	開催月	区分	対 象	人員	日数
1	学校給食用パン技術向上研修会	7月 3月	主催	パン委託加工工場	30名	各1日

【参加】

No.	事業名	開催月	開催地	主 催 者
1	関東甲信静地区 学校給食研究協議会	5月	山梨県	全国学校給食推進連合会 山梨県教育委員会・山梨県学校給食会
2	全国学校給食・栄養教諭等研究 協議大会	8月	長野県	文部科学省、(公社)全国学校栄養士協議会 長野県教育委員会・長野県学校給食会
3	関東甲信静ブロック学校給食会 連絡協議会 事務担当者部会	10月	神奈川県	関東甲信静ブロック学校給食会連絡協議会 神奈川県学校給食会
4	関東甲信静ブロック学校給食会 連絡協議会	11月	茨城県	関東甲信静ブロック学校給食会連絡協議会 茨城県学校給食会
5	管理職セミナー	10月	東京都	全国学校給食推進連合会
6	実務担当者研修会	11月	オンライン	全国学校給食推進連合会

エ 広報誌 学校給食だより「ちばっ子給食」の発行 \*年3回の発行 (1, 260千円)  
 学校給食に関する新しい情報を掲載し、学校給食の普及充実、食育の推進を図るために広報誌を発行する。

《広報委員会の開催(年3回)》

学校給食関係機関・団体等の代表者等からなる委員により、広報誌の企画・構成等について協議するとともに、学校給食及び食育推進に役立つ広報活動について情報交換を行う。

オ ホームページの拡充 (1, 500千円)  
 学校給食に関する情報をリアルタイムで発信するとともに、より親しみやすく、役立つ情報を提供する。

カ 学校給食献立システムソフトの活用促進 (84千円)  
 献立作成から栄養管理、週報・月報の報告書作成等を支援する学校給食献立システムを提供し、学校給食事務処理の効率化を支援する。

キ 食育教材の貸出 (320千円)  
 学校における食育に関する指導を支援するため、指導教材、レプリカ等の貸出を行う。

ク 関係機関・団体が主催する食育推進事業に対する支援

(ア)いきいきちばっ子学習ノート(中学生版)活用の支援

中学生の食育の授業において、自らの食生活を振り返り、望ましい食習慣を身につけさせることを目的に使用する学習教材ノート(千葉県教育委員会作成)をホームページに掲載(ダウンロード可)し、活用促進を支援する。

(イ)いきいきちばっ子「オリジナル弁当コンクール」(主催:千葉県教育委員会)の後援 (100千円)  
 県内の学校に在籍、または県内在住の小学5・6年生が、「いきいきちばっ子学習ノート」を活用し、テーマに沿った「オリジナル弁当」を作って学習の成果を発表する本事業を後援し、食育の推進を図る。

(ウ)中学生創造ものづくり教育フェア「あなたのためのおべんとう」コンクール(主催:千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会)の後援  
 「あなたのため」という相手のことを考えた弁当作りを通して、食に関する知識や技術の向上、よりよい食生活の定着を目指す意欲を育てることを目的としている本事業を後援し、食育の推進を図る。

(エ)「かむ子・のびる子・元気な子」料理コンクール(主催:千葉県歯科衛生士会)の後援  
 よくかんで食べることは、むし歯や歯周病の予防に効果があるだけでなく、肥満防止や脳の活性化を促すといわれている。県民等を対象に幼児期から規則正しい食生活と丈夫な歯でゆっくりかむことへの習慣づくりを進めることを目的としている本事業を後援し、食育の推進を図る。

No.	事業名	開催月	区分	対象	人員	日数
1	いきいきちばっ子「オリジナル弁当コンクール」	6~3月	後援	県内在住・在学小学生	公募	—
2	中学生創造ものづくり教育フェア「あなたのためのおべんとう」コンクール	11月	後援	県内在学中学生	公募	1日
3	「かむ子・のびる子・元気な子」料理コンクール	11月	後援	県内在住・在勤・在学者	公募	1日

ケ 学校給食諸団体に対する研究助成

学校給食の普及と発展を図るため、諸団体に対して事業費の一部を助成する。

No.	団体・協議会名	金額(円)
1	県教育研究会学校給食部会	230,000
2	県教育研究会技術・家庭科教育部会	50,000
3	県特別支援学校教育研究会学校給食研究部会	60,000
4	県特別支援学校教育研究会学校給食研究協議会	30,000
5	県学校栄養士会	350,000
6	県学校栄養士会(調理講習会補助)	200,000
7	県学校給食センター研究会	200,000

## 2 売渡計画

### (1)基本物資及びパン・米飯関連物資等供給予定数量

(単位：トン)

品 名	令和6年度予定数量	令和6年度予定食数
パン専用粉 ※	775.0	15,500 千食
砂糖	38.8	—
マーガリン	62.0	—
脱脂粉乳	23.3	—
精米	907.0	17,978 千食
精米（地元指定米）	742.0	
アルファ化赤飯	6.9	—
アルファ化米	61.2	—
精麦	62.4	—
強化米	6.0	—

※ パン専用粉は小麦粉、米粉、グルテンをミックスした粉。

### (2)一般物資供給予定数量

(単位：トン)

区 分	令和6年度予定数量
乾物関係	2,300
冷凍食品関係	750
デザート関係	520
合 計	3,570



### 3 主な物資の供給予定価格

#### (1) 精米・精麦等

単位：円

物資名	令和6年度供給 予定価格	令和5年度供給 予定価格	比較増減(-)
精米 ふさこがね (1kgあたり)	379.00	338.00	41.00
精米 コシヒカリ (1kgあたり)	398.00	357.00	41.00
アルファ化米 (1kgあたり)	685.00	633.00	52.00
アルファ化赤飯 (1kgあたり)	1,032.00	964.00	68.00
精麦 (1kgあたり)	318.00	318.00	0.00
牛乳 (1本あたり)	60.59	56.58	4.01

#### 附表 米飯基準価格

単位：円

物資名	令和6年度供給 予定価格	令和5年度供給 予定価格	比較増減(-)
白飯 ふさこがね(80g)	68.49	63.21	5.28
白飯 コシヒカリ(80g)	70.01	64.73	5.28
赤飯 (90g)	131.05	122.93	8.12

#### (2) 小麦粉製品

単位：円

物資名	令和6年度供給 予定価格	令和5年度供給 予定価格	比較増減(-)
パン (50g)	54.66	51.05	3.61
包装代	8.00	7.00	1.00
合計	62.66	58.05	4.61

### 4 資金計画

当財団自己資金を充てるほか、市中銀行短期借入金をもって支払資金とする。